

## 福岡県日本脳炎情報

保健医療介護部保健衛生課  
感染症係 岩本・中山  
内線：3079・3080  
直通：092-643-3268

### ～日本脳炎の感染に注意しましょう～

感染症流行予測調査事業の一環として実施している「日本脳炎感染源調査」（7月から9月まで実施）において、平成25年8月6日に採血された県内で飼養されているブタのHI抗体価保有率が100%（10頭中10頭）となったことから、県民の皆様に対して日本脳炎の感染に注意いただくようお知らせいたします。

日本脳炎の感染を予防するため、以下の点にご注意ください。

#### 【感染予防対策】

1. 夕方から夜明けまでの蚊が活動する時間帯に外出する場合は、長袖、長ズボンを着用し、露出している皮膚に蚊除け剤を使用するなど蚊にさされないよう注意しましょう。
2. 水たまりをなくすなど蚊の発生が起こりにくい環境づくりに心がけましょう。
3. 十分な栄養をとり、過労を避けるなど健康管理に努めましょう。
4. 日本脳炎ワクチンの予防接種\*が有効です。

※ 日本脳炎の予防接種は、3歳で2回、4歳で1回、9歳で1回の接種が標準的な接種方法とされています。また、過去の積極的な勧奨の差し控えにより、7～10歳及び18歳のお子さんは、十分な接種が行われておらず、平成25年度の積極的な勧奨の対象となっています。

#### (参考)

調査したブタの半数以上が日本脳炎ウイルスに感染していると、約2週間後からその地域に日本脳炎患者が発生するという報告があります。

現在では、日本脳炎ワクチン接種の普及や生活環境の変化等により、ブタの感染状況と患者発生状況は必ずしも一致していませんが、夏期のブタの抗体保有状況から日本脳炎ウイルスがまん延あるいは活動していると推測される地域では、ヒトへの感染の危険性が高くなっていると考えられています。